

ふちゅう歴史散歩 Vol.59

おきぎ
翁座 中国地方最古の

木造芝居小屋



翁座の外観

「翁座での十二単特別展示」
とき 3月5日(土)・6日(日)
11時～16時
ところ 翁座(上下町上下)

翁座は、上下町内の有志が出資し、和風の木造2階建てで歌舞伎の上演が可能な施設として設計された建物です。大正時代に建築が始まり、舞台・楽屋・客席だけでなく、回り舞台・花道なども整備された本格的な劇場として、昭和2年に完成しました。その後は、芝居・映画の上映など、にぎわいをみせ、現在は、木造の芝居小屋として、中国地方では唯一現存する建物です。

近年、老朽化が進んで閉鎖されていましたが、地元の団体が管理を引き受け、補助金を使い雨漏りなどの補修も行われました。

また、平成26年には広島県内の魅力ある建物を選ぶ「ひろしまたてものがたり」で、訪れたいと思わせる魅力のある建物として、選定委員会の審査による「ベストセレクション30」と、県民の投票による「ベスト30」の両方選ばれ、注目を集めました。

天領上下ひなまつり期間中は、土・日曜日のみ、一般公開いたします。入場には、協力金200円が必要です。ぜひ、お越しください。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その24

みうらや

1月23日に府中学園近くにある、小さな府中焼き屋「みうらや」さんに取材に行ってきました。一步お店に入ると、昭和レトロな雰囲気、バリと音楽とおしゃべりが好きなオーナーさんが笑顔で迎えてくださいました。メニューは定番の肉玉から、焼きそば、府中焼きの上に刻んだトマトが乗っている「トマ玉」というオリジナル溢れるものまでたくさんあります。「ふと思いついた」という、オーナーさんオススメのこの一品は、「トマトの酸味がほどよく効き、病みつきになる」と、評判だそうです。さらに、アジアから仕入れた辛麺入りのお好み焼きや、マレーシアの屋台料理ミーゴレン(マレー風焼きそば)も楽しむことができます。

お好み焼きを美味しくする秘訣は、「材料を吟味し、丁寧に焼く」ことと、「何より自分が美味しいと思う府中焼きを作る」ことだそうです。

投稿者 (文と写真)



府中高校 1年生
三山 千換さん(左)
大森 穂野花さん(右)



不定休で、営業時間は
10時30分～21時

一人でも、友達とでも、気軽にオーナーさんとおしゃべりを楽しめます。他では味わえない美味しいメニューが魅力の府中焼き屋「みうらや」さんでした。

平成28年3月1日(1210)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。